

平成29年度第4回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：平成29年7月18日（火）10時00分～11時05分

場 所：熊本県立大学大会議室

出席：学長	半藤 英明
事務局長	田中 純二
環境共生学部長	松添 直隆
総合管理学部長	黄 在南
地域連携・研究推進センター長	堤 裕昭
学術情報メディアセンター長	村尾 治彦
アドミニストレーション研究科長	宮園 博光
環境共生学研究科長	北原 昭男（オブザーバー）
TKU みんなのニュース解説委員/熊日調査役	平野 有益
崇城大学教授・九州大学名誉教授	山田 耕路
熊本県公立高等学校長会長	和久田 恭生
欠席：副学長	津曲 隆
文学部長	砂野 幸稔

事務局：本田事務局次長、多田隈教務入試課長、坂本学生支援課長、花村企画調整室長、前田総務課長、脇上地域連携・研究推進センター事務長、安達学術情報メディアセンター事務長、教務入試課築地班長、同課平山班長、教務入試課松本参事

1 開会（進行：本田次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：半藤学長）

（1）審議事項

① 平成29年度秋季入学入学者選抜（大学院環境共生学研究科博士後期課程外国人留学生特別選抜（水銀研究留学生奨学金枠））における合格者の決定について

事務局教務入試課から、資料1に基づき、「大学院環境共生学研究科博士後期課程外国人留学生特別選抜（水銀研究留学生奨学金枠）について、2名の募集に対して、1名の志願があり、平成29年7月8日（土）に入学者選抜を実施した。」との説明があり、続いて、北原環境共生学研究科長から、「総得点が概ね6割を超え、かつ3割未満の科目がないことを合格基準としており、受験した1名は基準を満たしているため、合格としたい。また、記述試験結果から英語力に問題はなく、口頭試問でも、熱意及び英語によるコミュニケーションは十分であった。」との説明があった。審議の結果、案のとおり承認した。

② 平成29年度非常勤講師の採用について

事務局教務入試課から、資料2に基づき、「文学部から推薦があった後学期科目を担当する1名の非常勤講師の採用について審議をお願いしたい。」との説明があった。審議の結果、案のとおり承認した。

(2) 報告事項

① 平成29年度秋季入学入学者選抜（大学院アドミニストレーション研究科博士後期課程）について

事務局教務入試課から、資料3に基づき、「平成29年度秋季入学入学者選抜のうち、大学院アドミニストレーション研究科博士後期課程について、6月19日から6月23日を出願期間として募集を行ったが、志願者はいなかった。なお、文学研究科及び環境共生学研究科については、7月31日から出願受付を行う予定である。」との報告があった。

② 平成29年度オープンキャンパスの開催について

事務局教務入試課から、資料4に基づき、「実施日は、文学部と環境共生学部が7月16日、総合管理学部が7月23日。参加者はそれぞれ800名程度を見込んでいる。実施内容については、文学部・環境共生学部では、学科紹介等のあと、サマーカレッジ（授業体験）を午前と午後に行った。総合管理学部では、学部紹介等のあと、午前にサマーカレッジ（授業体験）を3講座行い、午後には在学学生によるゼミ活動体験ツアーを行う予定。学部毎のプログラムの他に共通プログラムとして在学学生のナビゲーションによるキャンパスツアーや進学相談会を予定している。」との報告があった。

③ アドミニストレーション研究科のあり方検討に伴う理念等の見直し（案）について（検討状況報告）

アドミニストレーション研究科長から、資料5に基づき、「総合管理学部は理念から見直しを行い、本年度から新理念等に基づいた新カリキュラムを施行した。研究科も学部と連動して理念から検討し、今年度中に新理念等を確定、来年度新カリキュラムを確定させ、平成31年度から新カリキュラムの施行を予定している。理念及びカリキュラムポリシー等案は承認されている素案をより具体化し、内部進学者増加のための学部との接続性、社会人をいかにして受入れるか及び前期・後期課程をいかにしてシームレスに行うかをポイントとして検討したものである。今後引き続き検討を行い、確定後改めて審議を依頼する。」との説明のほか、カリキュラム素案の具体的な説明と前期課程の履修モデルの概要・目的については検討中であり今後修正する可能性があること、後期課程の科目区分は細分化されていたものを大綱化し、学部、博士前期課程及び後期課程の区分を分野にて構成したとの説明があった。

4 その他

次回日程 平成29年度第5回 9月4日（月）午前11時～本部棟2階大会議室

5 閉会